

2026 大阪市ふれあい水泳大会の申込み・参加にあたっての注意事項

1. 実施種目

	介助者の入水	介助者の付き添い (プールサイド)	浮助具の使用	着順判定
介助者つき 25m自由形	○	○	○	行わない
浮助具つき 25m自由形	×	○	○	行わない
めざせ！！完泳 25m自由形	×	○	×	行わない
25m自由形・背泳ぎ 平泳ぎ・バタフライ 50m自由形	×	×	×	行う
オープン（25m自由形）	×	×	×	行わない
100mリレー（4×25m）	×	○2名まで	○	行う

- ・タイムはすべての種目で計り、記録に残ります。
- ・浮助具は、個数・材質・形に制限はありません。
- ・100m リレーでは、1 人 1 回までの出場となります。なお、介助者は 1 チームにつき 2 名までです。

2. 本大会申し合わせ事項

1) 出発

- ・介助者つき 25m 自由形と浮助具つき 25m 自由形と 25m 背泳ぎは、水中スタートのみとします。その他の種目は水中スタートかスタート台横からの飛び込みスタートを選ぶことができます。スタート台の上から飛び込むことはできません。
- ・安全のためスタート時に補助が必要な場合は、介助者つき 25m 自由形を除いて競技役員が行います。補助が必要な人は、申込用紙の④特記事項「スタートの補助」に○を記入してください。

2) 失格について

着順判定を行う種目については、厳しく**失格の判断**を行います。失格の場合は「記録なし」となり、敢闘の賞状はお渡ししませんので、あらかじめご了承ください。

※記録なしとなります。

- ・競技中に歩いたり、プールの底を蹴るなどして進んだ場合
- ・レーンロープを引っぱって進んだ場合
- ・レーンの逸脱などで明らかに他の参加者を妨害した場合
- ・フォルススタート（フライング）を行い、他の参加者よりも有利になった場合
- ・25m 平泳ぎであおり足をした場合
- ・25m 平泳ぎと 25m バタフライで、片手だけでゴールタッチをした場合
- ・介助者が競技中に声をかけ、選手を指導または誘導した場合

* 身体障がいによりやむを得ないと認められた場合には、各泳法の規則を緩和することがあります。

- 3) 競技中に、何らかの理由で泳者が完泳することができない、または泳者の身が危険であると審判長が判断した場合は、競技を中断させる場合があります。
- 4) レースで7分を経過した際は、介助者または競技役員が補助する場合があります。
- 5) 100m リレーで5分を経過した際は、その時点で競技を中止する場合があります。
- 6) 本大会では、水着の規定は特に定めません。

3. その他

- 1) 体調管理には、十分に注意してください。大会当日のけがなどについては、応急手当のみいたします。健康と安全には十分に注意してください。
- 2) 選手については、主催者側で傷害保険に一括して加入します。
介助者付き25m自由形に出場される方の介助者（入水される方）については、必要に応じて各自で加入をお願いします。
※ご不明な点等ありましたら、職員までお問合せください。
- 3) 大会プログラムなどに選手の名前・性別・所属名・障がい区分・年齢区分・競技種目・スタート方法・競技の結果などを掲載し公表します。また、テレビ・新聞などの報道や広報誌などに、選手の名前・写真・映像などが掲載されることがありますので、あらかじめご了承のうえ、お申し込みください。
- 4) 各種目の開始予定時間は、9月上旬ごろにセンターのホームページ、LINE、館内に掲示します。詳しいプログラム等については、お答えできませんのでご了承ください。

競技の観覧と選手控え場所について

- ・プール観覧席はスペースに限りがありますので、シート等の場所取り行為はお止めください。
- ・選手の皆さんは、アリーナに選手控え場所を用意しています。